さんないまるやま　つうしん

三内丸山通信

第57号
平成25年４月19日
青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室
〒030－8540 青森市新町２丁目３－１
TEL（017）734－9924
FAX（017）734－8280
三内丸山遺跡縄文時遊館
〒038－0031 青森市三内字丸山305
TEL（017）781－6078
FAX（017）781－6103
URL:http//sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

最新の研究成果まとまる

三月十六日、縄文時遊館で、平成二十四年度三内丸山遺跡報告会を開催しました。約七十名の参加者は、最新の発掘調査成果と研究成果の報告に熱心に耳を傾けていました。

【会場の様子】

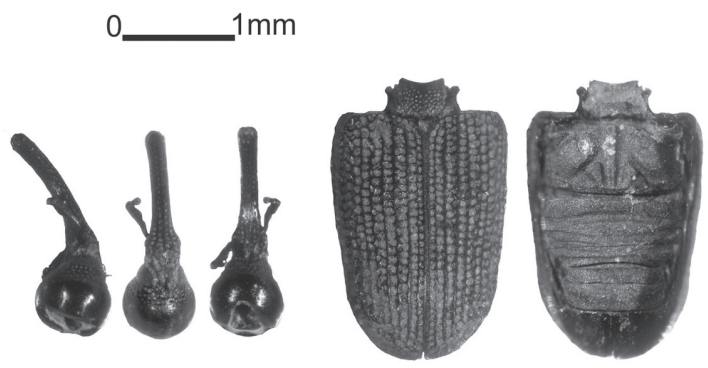
円筒土器文化における文様割付の研究

小林謙一（こばやしけんいち）さん（中央大学文学部）は、円筒土器の文様の割り付け方と突起の数に注目し、分析を行いました。これらは、人々に共有されていた土器づくりのルールを反映するものと考えられ、円筒土器には文様を四つの単位で均等に割り付ける伝統があることがわかりました。

また、南東北の土器づくりの影響がおよぶ中期後半以降になると、こうした伝統がみられなくなることもわかりました。

三内丸山遺跡からみた貯蔵食物害虫 *Sitophilus* 属の生態と進化過程の研究

小畑弘己（おばたひろき）さん（熊本大学文学部）は、三内丸山遺跡で出土した大型のコクゾウムシに注目しました。出土したコクゾウムシは、現代のイネを食べているものと比べて、著しく大きく、クリなどの木の実が餌（えさ）となったことや低温状態で育ったことなどが原因となる可能性を指摘しました。また、土器の圧痕（あっこん）にみつかる昆虫の多くが害虫であり、屋外で自然に生息する種が少ないため、土器づくりが屋内で行われた可能性があることがわかりました。



【三内丸山遺跡で見つかったコクゾウムシ】

円筒土器文化総合研究報告

三内丸山遺跡保存活用推進室が、平成二十四年度から開始している「円筒土器文化集落データベース」作成事業について、中間報告を行いました。今年度は、縄文時代前・中期の遺跡一覧表を作成し、年代や所在地の登録を行いました。作業を通じて、現在のところ円筒土器が出土している遺跡は、北海道・青森・秋田・岩手の四道県で、八百四十一遺跡であることがわかりました。

来年度は、遺跡ごとに出土遺物や遺構のデータの登録を行い、データベースを完成させる予定です。

【円筒土器が出土した遺跡】

平成24年度　第３回企画展

西盛土の発掘

－第36次発掘調査最新情報展－

三内丸山遺跡では、西盛土の調査を平成二十一年度から四ヶ年にわたって行いました。平成二十四年度は、西盛土の東端を調べることなどを目的として発掘調査を行いました。今回の企画展では、新たな調査成果について、図面や遺物を紹介しながら展示しています。

平成25年３月15日（土）～９月１日（日）

【企画展の展示状況】

さんまる縄文体験始まる！

三内丸山遺跡では、多くの方々に縄文時代へ対する興味・関心を持っていただくために、小学校三年生以上を対象とした「さんまる縄文体験」を今年も開催します。参加費は無料ですが、定員があります。四月二十二日から募集を開始しますので、早めにお申し込み下さい。みなさまの参加をお待ちしております。

平成25年度　さんまる縄文体験　開催内容

1回コース

月日	メニュー	内容	定員
5/18(土)	黒曜石で矢じりを作ろう	黒曜石で矢じりを作り、弓矢を体験します。	30人
6/15(土)	イノシシの骨でぬい針を作ろう	イノシシの肋骨で針を作り、ししゅうをします。	20人
7/20(土)	縄文土器に色をつけよう	赤鉄鉱（赤色の原料の石）を粉砕した粉で、土器に色をつけます。	30人
8/8(木)	さんまる発掘体験	じっさいに発掘作業を体験します。	20人
8/10(土)	土偶のレプリカを作ろう	土偶などの複製品（レプリカ）を作ります。 （講師：府中工房　堀江武史氏）	15人
9/28(土)	岩偶と石のペンダントを作ろう	岩偶と石のペンダントを滑石で作ります。	30人
10/5(土)	鹿のつので釣り針を作ろう	鹿のつので釣り針を作り、魚を釣ります。	30人
11/16(土)	木の実を調理してみよう	ドングリなどのからむき、粉砕を石器でおこない、土器で煮て、アクを抜く調理を体験します。	30人

2回コース

月日	メニュー	内容	定員
7/6(土)	縄文土器と板状土偶を作ろう①	粘土で縄文土器と土偶を作ります。 （講師：陸奥美窯　誉田実氏）	30人
9/14(土)	縄文土器・板状土偶を作ろう②	7/6に作った土器と土偶を野焼きします。	

縄文の家を復元します！

昨年は、県民のみなさんのご参加をいただいて、竪穴住居を二棟復元しました。今年度は、四棟の竪穴住居を復元します。

【竪穴住居の軸組をしています】

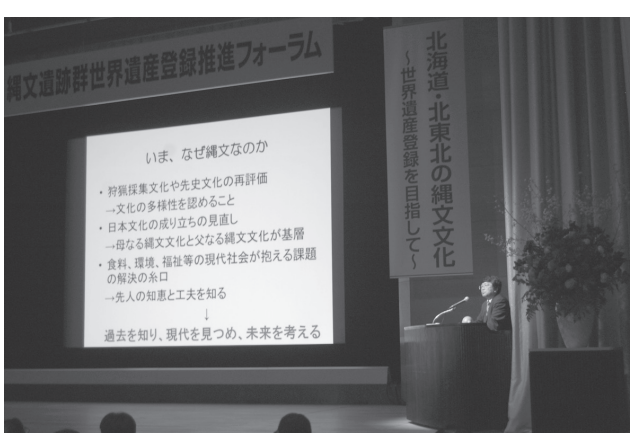
二棟は地元小学生、二棟は県民の皆様にご参加いただいて復元する予定です。復元作業は、縄文時代に関する講座や体験活動とセットで行われますので、興味のある方の参加をお待ちしております。詳しくは公式ホームページ等にて募集する予定です。

縄文遺跡群を東京でアピール！

平成二十五年一月二十六日、北海道、青森県、岩手県及び秋田県と、関係する市町で組織する縄文遺跡群世界遺産登録推進本部では、東京都の有楽町朝日ホールで縄文遺跡群の世界遺産登録を推進するフォーラムを開催しました。

フォーラムでは、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を構成する十八の縄文遺跡について、各遺跡の調査や保存管理などを行っている県、市、町の担当者から、遺跡が発見された経緯やこれまでの調査・研究成果のほか、最新の調査状況などを交え、それぞれの遺跡の価値や特徴について説明がありました。

縄文遺跡群世界遺産登録推進会議座長の、岡田康博青森県教育庁文化財保護課長が「縄文文化は自然と共生する文化で、この時代の知恵と工夫を知ることで現代が抱える食料、環境等の課題解決のための糸口となる。縄文文化は過去を知り現代を見つめ未来を考えるきっかけになる。」とまとめ、首都圏の方々を中心とした四百五十人の参加者は、熱心に聞いていました。



【講演の様子】

縄文春祭りのお知らせ

四月二十七日～五月六日までの十日間、三内丸山遺跡では、恒例の「縄文春祭り」を開催します。地上約十五メートルの高さから遺跡をながめる「縄文パノラマビュー」、迫力のある演奏が楽しめる「津軽三味線ライブ」、縄文人の技術に挑戦する「チャレンジ・ザ・じょうもん」など、さまざまなイベントを実施します。詳しくは、公式ホームページ等でお知らせします。ぜひ、三内丸山遺跡にお越しください。

三内丸山遺跡のご案内

休館日
12月30日～1月1日

見学料
無料

開館時間
10月～5月は9時～17時（4/27～5/6は18時まで）
6月～9月は9時～18時
（入場は閉館の30分前まで）

さんまるミュージアムの定時案内
10:30～、13:30～の2回行っています
（所要時間約20分）

ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から（4月27日～5月6日は9時から）
その後は10時から1時間ごと、最後は16:00から
（所要時間：約50分）

見学の問い合わせ先
017－766－8282（三内丸山応援隊）

交通機関
□青森市営バス
JR 青森駅から⑥番乗り場「運転免許センター」行き
三内丸山遺跡前で下車　料金300円　約30分

□ねぶたん号
JR 新青森駅南口から左回り乗車
三内丸山遺跡前で下車　料金200円　約10分